

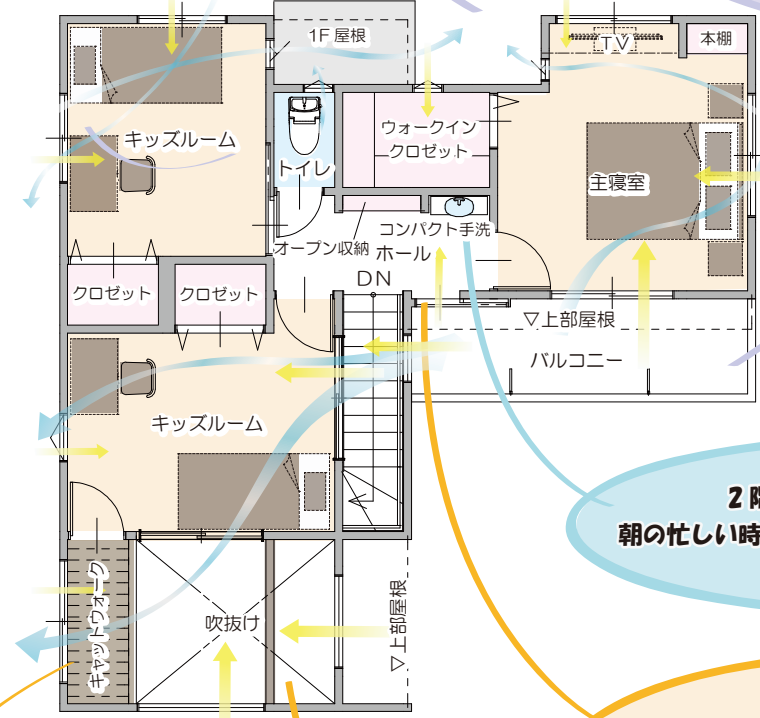
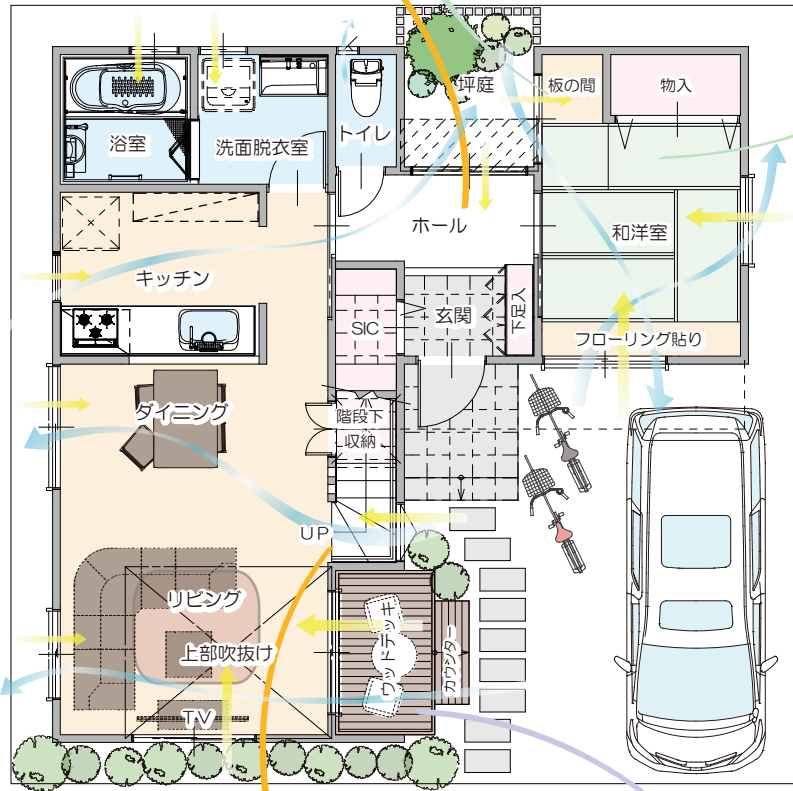
玄関ホール先の坪庭が、
家族とお客様を迎え入れます。
日中は落ち着いた緑の空間が心を癒し、
夜はライトアップしてドラマチックな空間が楽しめます。

坪庭に面した窓から
誰にも邪魔されずに、
静かにみどりを楽しむことができます。

親御さんとの同居も考慮して
離れの和洋室を設けました。
一世帯だけで住まう場合も、
将来的に2階への昇り降りが辛くなった時の
主寝室として使うこともできます。

坪庭周りの2階の外壁は後退することで、
坪庭が玄関ホールへの光を取り込み、
北側に面するキッズルームへ光と風を届けます。

バルコニーの大きさや・奥行・配置は、
南面に広く、
布団や洗濯物を干すときに十分なことが理想。
道路から距離を多く取ることで、
排気ガスで洗濯物が汚れる心配や、
フライバシーが侵害される心配もありません。



2階にも小さな手洗いを設けると、
朝の忙しい時間帯の洗面脱衣室の混雑が緩和されます。

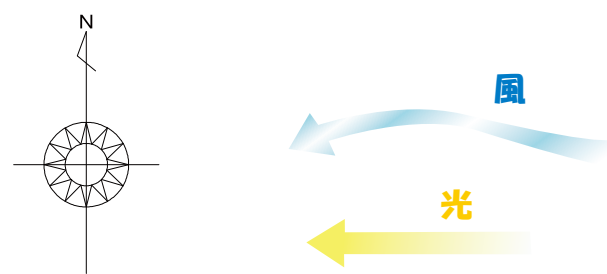
共有のホールからバルコニーへ直接出入りできると、
家事動線の短縮になり、
誰かの部屋を通らなければならない、
という家事ストレスもなくなります。

大きな吹抜けは、
キャットウォーク（高所用通路）と
開閉できる窓を設け、
こもりがちな熱気を逃がします。

吹抜けは「あかり採り」としてだけでなく、
室内空間に広がりができ、
その開放感が生活にも潤いを生みます。

リビングとダイニングの中央に階段を設ければ、
お子様は必ず家族の顔を見てから個室へあがります。
家族同士のコミュニケーションがとりやすく、
お子供の微妙な変化に気づくことが多くなります。

道路近くのウッドデッキは、
ご近所との交流の場です。
道路面の壁が通行する人・車からの
直接的な視線を遮り、
適度なフライバシーを確保できます。
リビングの延長としても使えるので、
視覚的にも開放感が増します。



家族構成

パパ・ママ・仲良し姉弟2人の4人家族。

1階面積：59.62 m²
2階面積：44.30 m²
合計面積：99.36 m² (30.05 坪)